



ロータリーに輝きを  
Light Up Rotary  
国際ロータリー会長  
ゲイリー C. K. ホアン

Rotary International

# 週報

— 奉仕活動を通じて、地域社会に貢献！ —

2014~2015年度 会長 高橋 正典

Vol49 No.13 平成 26年 10月 11日

Vol49 No.14 平成 26年 10月 14日



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ  
東京国分寺ロータリークラブ

## 第2339回 例会報告 — 10月11日 —

### 平兵衛まつり

日時：平成26年10月11日(土) 10:00~15:30

場所：(公財)鉄道総合技術研究所



### 委員会報告

#### 出席委員会

会員数：46名 免除：12名 メーキャップ済：2名

欠席：7名 出席率：79.41%

《前々回の訂正》なし

## 第2340回 例会報告 — 10月14日 —

本日の司会

鳥居 SAA委員長

開会宣言・点鐘

高橋 会長

ロータリーソング

『我らの生業』

○ソングリーダー：

黄田会員



ニコニコボックス

酒井親睦委員長

高橋会長・中村幹事：台風が無事通りすぎ、例会が開催できて

良かったです。本日、インシエーションスピーチ 山内・峰岸会員よろしく  
お願いします。黄田会員：昨日、国際  
中医師試験にパスしました。一層の  
精進を目ざします。ニコニコ致しま



す。小川会員：ひとごとと思っていた孫の運動会を参観して  
きました。ニコニコ致します。森会員：台風一過、晴天のも  
と、気も晴れて仙台へこれから出張に行つて来ます。鳥居会  
員：先日のいもほり、11日の平兵衛まつりとも、好天に恵  
まれ、皆様のご協力で無事終えられたことに感謝します。ま  
た、本日の峰岸会員、山内会員のスピーチ楽しみにして、ニ  
ニコします。

## 会長の時間

## 高橋会長

皆様、改めましてこんにちは。本日、例会の場所を提供いただいた多摩信用金庫国分寺支店中村支店長、いつもありがとうございます。今回は芋ほり大会の予備日ということもあり、例会場の選定に困っていましたが、快くお引き受けいただき、感謝いたします。いつもありがとうございます。また、本日は新入会員イニシエーションスピーチ、峰岸正明会員、山内和臣会員よろしくお願いいいたします。先週、10月11日土曜日、第27回平兵衛まつりにご参加いただきまして、ありがとうございました。例年、多くの来場者があり、ロータリー活動宣伝の良いイベントになっているかと思えます。たましん様、野村證券様、武州交通様には景品をご提供いただきありがとうございました。また、先週卓話していただきましたライラリアン、平林様、増子様にもお会いでき、RYLAだけでの1度きりの接触ではなく、継続的なお付き合いがロータリー活動の理解、普及に繋がるものと信じています。今月は職業奉仕月間とともに米山月間でもあります。私が幹事をしていた時にカウンセラーをしておりました現在、米山学友であります「吳海超君」の近況報告をいたします。日本の企業に就職し、米山奨学生の時から、既婚者で一人の子供をもうけていましたが、就職後、二人目が生まれて、現在は離職し、起業のため、準備中です。卓話を当初お願いしておったのですが、来年4月より、本格的に日本において、中国向けの貿易商社を設立すべく活動中で、卓話は今回、実現できませんでした。交換留学生、米山奨学生、ライラリアン等、国分寺RCに関わった人たちと、できる限り交流を図り、RC活動の輪を広げていければと思います。その交流が会員増強にも繋がっていくと思います。ここで、本年の奉仕事業の途中経過をご報告します。国分寺駅北口の防犯カメラ設置事業ですが、ロータリー財団からの補助金が9月末に執行され、また、東京都、国分寺市からの助成金も申請が受理されました。あとは年内目処に設置をするばかりとなりました。また、国分寺市市制施行50周年事業の史跡駅伝大会使用のスタッフジャンパーもサンプルをタツノコプロに確認中で、こちらも順調に進んでおります。それに付随し、史跡駅伝開催宣伝用の「ぶんぱす」に掲示する広告(バス前方に布マスクを装着)も申請中です。また、国分寺まつりを本年RI会長推薦の「ロータリーデー」として開催いたします。のぼり弾幕等を準備し、ロータリーを宣伝し「輝きを！」をもたらせられれば、と念じております。どの奉仕活動も、会員全員の協力なくして実現成功は達成できません。積極的に参加を望みます。よろしくお願いいいたします。これで、14/46回目の会長の時間を終わります。



## 幹事報告

## 中村幹事

①平兵衛まつり スーパーボールすくいで7,369円集まりました。後日社会福祉協議会に寄付します。②10月21日 ガバナー公式訪問です。会員は17時30から45分飛鳥に集合、点鐘は18時半例会は19時半まで、SAA委員は17時に集合してください。③10月28日は振替休会、11月2日は国分寺まつり 移動例会が続きますのでご注意ください。



## 委員会報告

### 出席委員会

### 照木委員

会員数: 46名 免除: 10名  
メーキャップ済: 1名 欠席: 2名  
出席率: 94.44%  
《前々回の訂正》なし



## イニシエーションスピーチ

### ◇峰岸 正明 会員

(クラブ会報・ガバナー月信・IT委員会副委員長)

あらためましてこんにちは。峰岸工務店の峰岸正明です。伝統のある国分寺ロータリークラブに入会させていただき早10ヶ月になろうとしています。まず最初に僕を推薦していただいた中村幹事に感謝いたします。そしてロータリークラブに入会するきっかけをくださった、中村幹事のお母さんの清水玉江さんに感謝いたします。ロータリークラブでまだまだ自分が何をしてもよくも解っておりませんが、みなさんとの会話を通じてたくさんのことを学んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいいたします。本日イニシエーションスピーチを披露することとなりまして、やっと国分寺ロータリークラブの一員になれる気がします。イニシエーションスピーチということですが、まずは略歴をお話いたします。僕は昭和45年3月26日八王子市に生まれました。昭和45年は大阪万博やよど号事件など世間がざわついていた年だときいております。幼少期は八王子で暮らし八王子市立の小学校、中学校に通っておりました。高校は立川の昭和一高で、その後一浪をして明星大学に進学しました。今は建築の仕事をしておりますが、学生時代は全く建築の仕事に興味がなく、どちらかというときらいで、どちらかという普通のサラリーマンになりたくて経済学科を専攻しております。



た。学生時代は卓球部に入部しまして、卓球とお酒とバイトと今思えば好き勝手に過ごしていました。ちなみに学生時代は、卓球ですが中学から足掛け10年間卓球を続けてきました。レベル的には市民大会で個人では入賞したり、団体戦で優勝したりはありましたが、全国大会までは届きませんでした。実は今の家に公式サイズの卓球台があり、たまに未練たらしくピンポン玉と戯れています。卒業後は殖産住宅相互株式会社というハウスメーカーに就職しました。仕事内容としては住宅展示場での勤務で営業職でした。最初の勤務地は八王子展示場で次は南町田展示場でした。南町田時代は遊びの面でも充実していて、横浜に飲食に行く機会が多くて楽しかったです。余談ですが町田は面白い街で小田急線と横浜線が乗り入れている、いわゆる都県堺で新宿渋谷の文化と横浜のこじやれた雰囲気は今でも同居していて面白い街です。若い人も多くて街が明るいです。1998年消費税増税後、会社の業績も悪い中早期退職をすすめられそれに応募して退職をして今の峰岸工務店に拾ってもらいました。殖産住宅時代は住宅の営業とは名ばかりで家のことは皆無に近いくらいわかりませんでした。このままやっつけていけるのかと不安になりました。とりあえず資格かなと考えその年に2級建築士と宅建を取得しました。それから実務経験を積んで遠回りしましたが2007年に一級建築士を取得できました。ここで僕の仕事の内容ですが、おうちの設計から施工そしてアフターまで一括して家づくりやリフォームのお手伝いをさせていただいております。峰岸工務店の紹介ですが会社としましては1998年に登記簿上会社にいたしましたので今年で16年目ですが、祖父の代より大工の仕事をしてきて、80年の歴史がございます。僕の社会的な役割ですが、リフォームを含めた家づくりを通じて豊かな住生活を提供することで住む人に笑顔をもたらすことだと思います。今の自分の中のテーマはずばり笑顔です。先日、笑顔アメニティー研究所の門川義彦先生の講義をうけて、今自分に足りないのは笑顔だと思いました。日本人の一日の笑顔の時間は24時間中わずか2時間弱だそうです。欧米に比べても少ないそうです。家づくりを通じて、お客様が自然に笑顔になれるそんな仕事をしていきたいなと思います。また僕自身も笑顔の多い現場づくりやお客様との商談を目指したと思います。ご清聴ありがとうございます。僕のキーワードは笑顔です。笑顔を多くして幸せな人生を過ごせたらと思います。20分間スピーチするのは初めてでとても緊張しました。またこれからもよろしく願います。

## ◇山内 和臣 会員

(会場監督委員会副委員長)

皆様こんにちは。リオン株式会社顧問の山内 和臣(かずおみ)と申します。入会させていただいてからもう半年が経とうとしていますが、どうもあいつのことはよくわからんと思っている



方が殆どだと思いますので、ここで改めて自己紹介させていただきます。私は、千代田区で生まれ、3才位からは渋谷区にあった父親の会社の社宅で育ちました。狭い間取りでしたが、交通の便が良かったのが唯一の利点でした。新宿まで歩いて25分位のところでした。小学校は京王線の初台の近くにあり、甲州街道沿いの歩道が通学路でした。当時注意していたことが2つありました。今でしたら車、不審者となるでしょうが。1つは「ドブ」です。甲州街道と逆側のはじめにドブが流れていて、糸ミズがウジャウジャ繁殖していました。ふざけあって歩いているとドボンとはまってしまう。そして最もやっかいだったのが犬のフンです。まあ道のあちこちにありまして、太陽で乾いて風に飛ばされるか雨に流されない限り、徐々に増えてマキビシでも撒いたようになっていました。友達と話に夢中になっているとつい踏んづけてしまう。学校に着くと、外の水道でズックの底を洗っているのが必ず2~3名はいました。5年の時に東京オリンピックが開催され、開催前には外国のフェンシング・チームが練習のため体育館に来ていました。中学の時ですが、西新宿の開発はまだこれからという段階で、高層ビルは一つもありませんでした。淀橋浄水場の水を抜いて干している段階で、その樹形の地形が草野球にぴったりで、よく学校帰りに遊びに行っていました。最近、国立競技場の建て替えて聖火台が取り外されたことがニュースになっていましたが、当時渋谷区立の中学校は全9校あり、毎年秋にこの国立競技場で9校対抗の陸上競技大会が行われていました。あの広い競技場を9校の中学生で独占して使用していたことが思い出されます。東京オリンピックで使用された大きな電光掲示板に、自分の中学の名前が映し出されるのは実に誇らしかったです。もっとも私は運動音痴で、3年間ずっと応援席にいましたが。高校は都立高校で、当時は群制で渋谷・新宿・世田谷区が同じ学区となり学校は選べませんでした。世田谷のごく普通の高校に割り振られて通っていました。大学は文科系で特に専攻はなかったのですが、マーケティングを少しかじっていました。ただクラブは、ちょっと異色なクラブに入っていました。顧問の教授が大学の机を離れて実践から学ぶことを唱え、岩手の三陸海岸で、春合宿は植林作業、夏合宿は炎天下の中での下草刈り作業と地元の農作業の手伝いをメインに活動していました。合宿中は薪で飯を炊き、薪割りや鎌研

ぎから1日が始まる無骨なクラブでした。足回りはキャラバン。シューズか地下足袋でした。こんなクラブですが、当時部員約50名のうち女子が3割強いました。女子部員はまあ理論派揃いで酒も強いし硬派揃いでした。寝る場所は蚕棚のようなベッドで、驚かれると思いますが、何と男女一緒に雑魚寝で過ごしていました。それでも合宿中は問題も起こらず、男女の区別なく一体となってやっていました。当時はマスコミから注目され、NHKの「明るい農村」という番組で2日間放映されたり、日経新聞の正月特集版にカラーで掲載されたりしたこともありましたが、今年の幹事長が第49期ですので、あと1年で設立50年を迎えます。大学卒業後、マーケティングに興味があったため、当時小売業で老舗百貨店を抜いて、急成長を遂げていたスーパーに就職しました。スーパー業界も電機業界と同じように今では激変しています。つい最近もイオンがダイエーを完全子会社化するというニュースがありましたが、そして、30才の時に縁があって転職し、現在に至っています。親がその後、埼玉に家を建てたため、長男ということもあって37才から同居を始め、この20数年間、2時間かけてこの国分寺まで通っているところです。皆さんは地元中心の方々なので、横浜からいらして照木さんを除いては、通勤にはそれほど苦勞されてはいないと思います。ここで、皆さんがご存じない今の通勤事情を少しお話ししたいと思います。通勤ラッシュというのは、昔はよく山手線などの光景がニュースに出ていましたが、混雑ぶりは今も変わっていません。私が乗り換えている武蔵浦和駅では、ドアが開くと乗客が階段に向かって7列位でなだれ込み、その後、おしくらまんじゅうの末、最終的に2列になって階段を下ります。自分が生産ラインに乗っかっているような感覚にさえなります。私は見てのとおり小柄ですので、普通に歩いていると右から押されて左に傾き、左から押し返されて右へはじかれそうになるので、鞆を抱えて剣道の鍔迫り合いの如く、腰をしっかりと据え重心を落として、階段にたどり着くまで、必死に堪えています。通勤で従来と大きく変わったのが人の気質です。以前は乗客同士で互助精神のようなものがあり、一人でも多く乗れるよう奥にどんどん詰めたり、降りる時は声を掛け合って通路を空けたりするのが普通でした。しかし、今は自分のことしか考えない乗客が殆どです。周りのことは見ないし、気にもとめない。列車のドア付近をしっかりと占拠し、後の人が乗りやすいように詰めることは一切頭に無い。また、バッグやリュックなどは背負ったままで、人の迷惑などお構いなし。ひたすらスマホ画面とにらめっこしている。立っていると、ショルダーバッグを強く押し付けられることがよくあります。あまりにも痛くなって、バックを前にずらせないと注意すると、謝るのは10人中1人位、あとは人の方に顔も向けずムスッと無言でずらすだけ。隣にうるさいおっさんがいて今日はついてないなぐらいの感覚しかないんでしょね。唯一振り向くときは、スマホを覗き見されていな

いかの確認のみ。まあ、通勤中にほのほのとした出来事は殆どなくて、いらいら・カリカリした精神状態を必死になって戻そうとする努力が不可欠です。周りや他人のことは一切眼中に無く、自分のことしか考えない集団と同じ空間に長時間いると、実に虚しくなり、1905年のシカゴの空気を吸っているような気がいたします。このように通勤は体力だけでなく、精神的にも非常に疲れます。ここで自己紹介の話に戻しますと、このような通勤から解放される休日には、混雑・渋滞とはできるだけ関わりたくないと思っています。レジャーランドとかショッピングセンターなどは極力避けたいですね。一番の息抜きは、年に数回山に行くことです。山岳会に入られている正統派の方もいらっしゃるようですが、私の場合は、登山ではなく、邪道なただの山行きです。行くに当たっては四つのポイントがありまして、①いい汗をかく②汗をかいて頑張った結果、素晴らしい景色を見る③下山して温泉に入り、汗と疲れを流す④番目これが一番大事です、身も心も清めた後、お酒をおいしくいただく、です。この4番目は下山してから翌日帰りの列車の中まで、余韻を楽しみながら延々と続きます。そして山から帰ると、リュックはいつも粗大ごみ・邪魔者扱いで、かみさんから、とっとと片付けてというような具合でしたが、最近はずって来ました。リュックには、断熱シート、防寒着やレインウェア、ヘッドランプ、携帯ガスコンロ・食器類、水・食料、ティッシュなどが入っています。巷では防災用品のセットが色々出回っていますが、それよりはるかに実用的です。非常時の準備ということで、最近、家の中でリュックは確固たる地位を得るようになりました。山といえば、御嶽山が噴火し大惨事となりましたが、私は噴火当日、会社の仲間3人で尾瀬に行っていました。途中の山小屋で生ビールを飲んだり、宿でゆったりと酒を飲んだりしていましたが、家に帰ってからテレビを見て愕然としました。秋の山を楽しもうと同じ気持で行った者が、かたやあのような悲惨な事になって、複雑な思いがいたしました。以上、だらだらと話してまいりましたが、最後に4月からロータリー活動に参加させていただいて、半年が経ちました。わからない専門用語などは自分なりに調べたりはしているのですが、ロータリーは奥が深く、まだまだわからないことだらけです。大先輩の皆様のご指導を仰ぎながら、勉強して前に進んで行きたいと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。ありがとうございました。

## 閉会の点鐘

高橋会長

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

## 東京国分寺ロータリークラブ

会長 高橋 正典 幹事 中村 早苗

会報委員長 神尾 研二 副委員長 峰岸 正明

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階

Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601

URL: <http://www.tokyokokubunjrc.org/>